

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
コミュニケーション技術Ⅱ Communication skills Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(介護福祉士養成課程 必修)	介護福祉士養成課程の学生のみ履修可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
人間関係とコミュニケーション、コミュニケーション技術Ⅰ、介護の基本Ⅰ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
大熊 信成	福祉棟3階	火・水・木・金の9時から16時(授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
「コミュニケーション技術Ⅱ」では、実習における利用者とのコミュニケーションを振り返り、自己のコミュニケーションの傾向について分析・評価する。また、コミュニケーション障害について理解したうえで、事例から利用者の特性に応じたコミュニケーションの実際を学ぶ。さらに、介護におけるチームのコミュニケーションに必要な技術について学習する。				
授業の目標				
①基礎実習Ⅰで作成したプロセスレコードを分析・評価し、自己の傾向および改善点に気づくことができるようにする。 ②コミュニケーション障害の原因と特徴について説明できるようにする。 ③障害の特性に応じたコミュニケーションの留意点について、説明できるようにする。 ④介護におけるチームのコミュニケーションの必要性について、説明できるようにする。 ⑤介護における記録と報告の要点を列挙できるようにする。				
授業の方法				
基礎実習Ⅰで作成したプロセスレコードをもとに、自己のコミュニケーションについて分析・評価をし、自己の傾向について考察を深める。コミュニケーション障害の事例をもとに、実習での体験もふまえ、利用者の特性に応じたコミュニケーションについて考える授業とする。				
学習の成果(学習成果)				
①プロセスレコードの分析・評価を通し、自己のコミュニケーション技術を向上することができる。 ②コミュニケーション障害の特徴を踏まえ、利用者とのコミュニケーション手段を選択し、円滑なコミュニケーションをとることができる。 ③介護におけるチームのコミュニケーション技術を習得することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(授業概要と進め方・成績評価の方法など) 実習でのコミュニケーションの振り返り 【演習】(基礎実習Ⅰで作成したプロセスレコードを提出)			
第2回目	プロセスレコードの考察① 【演習】			
第3回目	プロセスレコードの考察② 【演習とまとめ】(プロセスレコードの分析・評価を次回提出)			
第4回目	コミュニケーション障害の理解、コミュニケーション障害のある利用者への対応 【講義】			
第5回目	利用者の特性に応じたコミュニケーションの実際① 高次脳機能障害 【講義と演習】			
第6回目	利用者の特性に応じたコミュニケーションの実際② 失語症 【講義と演習】			

第7回目	利用者の特性に応じたコミュニケーションの実際③ 構音障害 【講義と演習】	
第8回目	利用者の特性に応じたコミュニケーションの実際④ 認知症 【講義と演習】 (小テストと答え合わせ・解説①)	
第9回目	利用者の特性に応じたコミュニケーションの実際⑤ 視力障害 【講義と演習】	
第10回目	利用者の特性に応じたコミュニケーションの実際⑥ 聴力障害 【講義と演習】	
第11回目	利用者の特性に応じたコミュニケーションの実際⑦ 知的障害 【講義と演習】 (小テストと答え合わせ・解説②)	
第12回目	利用者の特性に応じたコミュニケーションの実際⑧ 発達障害 【講義と演習、DVD視聴】	
第13回目	利用者の特性に応じたコミュニケーションの実際⑨ 精神障害 【講義と演習】	
第14回目	介護におけるチームのコミュニケーション① チームのコミュニケーション、介護における記録 【講義】 (小テストと答え合わせ・解説③)	
第15回目	介護におけるチームのコミュニケーション② 報告・連絡・相談、チームにおける会議 【講義と演習】	
事前・事後学習	ITや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べておくこと。また、科目担当者に質問に行くこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	10%	以下の視点で評価する。教材を準備して授業に臨み、必要なことはノートにとり、わからないことは質問すること。また、グループ演習に積極的に参加し、他者の意見を十分に聴き自己の意見を述べ、学びを共有すること。
レポート	20%	基礎実習Ⅰで作成したプロセスレコードを分析、評価する。S評価のレポートは、再構成の目的が明確であり、場面がわかりやすいこと、自己のコミュニケーションの傾向および改善点について深く考察していること。
調査報告書		
小テスト	30%	8回目、11回目、14回目の授業で、それまでの学習内容に関する小テストを実施する。実施後、答え合わせと解説を行う。
試験	40%	国家試験形式の試験を実施する。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：最新・介護福祉士養成講座 第5巻「コミュニケーション技術」 中央法規出版		
履修上の留意点・ルール		
●実務経験（職種：児童指導員・生活指導員（障害児・者に係わる業務） 職歴：通算6年） 講義・演習に積極的に参加し、学びを共有してほしい。基礎実習Ⅰで作成したプロセスレコードを使用するので、初回授業で提出すること。机上に携帯電話、飲み物など教材以外のものを置くことは禁止する。やむを得ず欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。		